

令和2年度第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020年7月16日(木)

午後4時30分から6時30分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 16人(現在数20人)
欠席4人(大館委員, 高野委員, 永由委員, 村越委員)
- ・事務局 7人
- ・藤沢市 7人(鈴木市長, 宮治副市長, 和田副市長, 藤本市民自治部長, 池田福祉健康部長, 平井防災安全部長, 小泉市民自治推進課長補佐)
- ・藤沢市社会福祉協議会 2人
- ・コミュニティソーシャルワーカー 1人

《当日資料一覧》

1. 令和2年度 第1回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 片瀬・江の島まちづくり協議会 2020年度委員名簿
3. 「郷土づくり推進会議」運用の手引き
4. 片瀬地区 地域診断シート
5. 令和元年度 片瀬・江の島まちづくり協議会 活動報告集
6. 片瀬・江の島まちづくり協議会 まちづくり通信 No. 39
7. 令和2年国勢調査 調査員募集について
8. 新型コロナウイルスの本市の状況とその対応について

「 第 1 部 」

1. 開会

片瀬市民センター横田センター長より開会のあいさつが行われた。

2. 市側出席者紹介

鈴木市長から順に、市側出席者の紹介が行われた。

3. 市長あいさつ

鈴木市長よりあいさつおよび、新型コロナウイルスの対策も含め、ご協力のお願いがあった。

4. 委員自己紹介

畠山前会長から順に、委員の自己紹介が行われた。

5. 「新型コロナウイルスの本市の状況とその対応について」の説明報告

鈴木市長から資料「新型コロナウイルスの本市の状況とその対応について」に基づいて、本市の感染状況や本市の支援策の取り組み、新しい生活様式等について説明報告がされた。

6. 質疑・応答

- Q. 新型コロナウイルスの対応に追われている中で、市の医療体制の支援にある「帰国者・接触者外来等医療従事者支援金」や「藤沢市医療従事者応援寄付金」というのはどれくらい払われているものなのか（笹岡委員）
- A. 従事されている方への支援金については、ダイヤモンド・プリンセス号の対応に習い、市民病院および、民間の病院統一で1回4000円の支給を行っている。寄付金については、8月末まで募っているものであり、最終的な額をもって、各病院に感染防止用のマスクなどを配布することを検討している。
- Q. 市の経済支援について、給付金や支援金の申請の仕方がわからないという方が多い中で、市としてどういった取り組みがされているのか（笹岡委員）
- A. 給付金などについては、市のほかに国や県の制度のものもあるが、基本的には市に窓口を設けており、制度によって適切に振り分けて対応できるように取り組んでいる。
- Q. 今回の新型コロナウイルスの影響の中でも、ボランティアで活動していた団体などがある。今後もそういった状況や、災害対応などの場面も出てくるかと思われるが、ボランティアはあくまでもボランティア。行政として、しっかりと意見を聞き、危険がないような体制のもと、今後の行事なども実施していただきたい。（三觜委員）
- A. 今回の居場所事業をはじめ、ボランティア団体の意見を集め、今後に生かしていきたい。

※鈴木市長は公務のため、ここで退席

7. 「郷土づくり推進会議 運用の手続き」のご案内と片瀬地区の対応担当者紹介

藤本市民自治部長より、資料「郷土づくり推進会議」運用の手続きと「地域診断シート」について説明がされた後、地区の担当者紹介として、今年度、小泉市民自治推進課長補佐が担当となることを説明した。なお、その他、福室市民自治推進課長の紹介と、当日欠席となった藤岡市民自治推進課主幹の紹介がされた。

8. その他

・池田福祉健康部長より、新型コロナウイルスに対して、引き続き十分な感染防止対策のお願いと、特別定額給付金の申請についてのお礼のあいさつがされた。その後、市社協担当者および、コミュニティソーシャルワーカーの自己紹介がされた。

・平井防災安全部長より、今後の災害対策として、自宅周辺の安全状況の確認のお願いと、安心して避難ができるよう取り組むとあいさつがあった。

その後、市側職員は退席。

「 第 2 部 」

1. 開会あいさつ

①（横田センター長）

開会のあいさつならびに、地域づくりへの協力のお願いがあった。

②（畠山前期会長）

今回の第1回から展開していきたい。新たな課題を検討していくが、防災など部会外のテーマについても考えていきたい。

③（事務局）

藪内主幹より、今年度は新型コロナウイルスの影響により、委嘱状について市長から手渡しできないことについて説明があった。

2. 議題

(1) 新年度委員について（別紙）

別紙に基づいて、委員一覧、センター職員の業務分担、年間の予定表（案）、移行調査について事務局から説明した後、委員の自己紹介を行った。

(2) 今期役員体制について

・今年度の所属部会について

会長については、前期に引き続き畠山委員に務めていただくことで承認された。その後、各部会の会長については、前任が継続するという事で承認された。

※片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会については、前任の川嶋委員長が退任されたため、後任に澁谷(宏)委員が就任された。

その後、各部長から部会の取り組みについて紹介をした。

・今年度の所属希望調査について

移行調査票をもとに7月30日までにFAX、または持参で事務局に報告するようにお願いがあった。

(3) 今年度の計画について

①全体会議の開催時間等について

事務局より、昨年開催していた夜間の時間ではなく、午後の時間で調整が可能か、各委員に確認がされた。次回全体会については、午後3時30分からの開催とすることとした。

②地区集会実施について

今年度については、新型コロナウイルスの様子を見ながら、年度末に開催できそうであれば、開催を目指すということで事務局から説明があった。

(4) その他

特になし

3. その他

(1) 藤沢市から依頼

国勢調査員募集について、別紙に基づき事務局より案内がされた。

(2) 次回の全体会

8月20日(木) 午後3時から 片瀬市民センター2階ホールでの開催となった。

※開催通知は別途送付

4. 閉会

以 上

令和2年度第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020年8月20日(木)

午後3時30分から5時00分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 18人(現在数20人)
欠席 2人(大館委員, 依藤委員)
- ・事務局 8人

《当日資料一覧》

1. 令和2年度 第2回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 令和2年度 片瀬地区郷土づくり推進会議(部会 意向調査)
3. 令和2年度 会議日程表(案)
4. 回覧チラシ(7/20, 8/5, 8/20)
5. ひだまり片瀬 第16号(2020年3月発行)
6. 片瀬山環境委員会 ホームページ開設について

1. 開 会

2. 会長あいさつ

畠山会長よりご挨拶をいただいた。

3. 議 題

(1) 各委員の所属部会について

別紙の意向調査票を参考。基本的には意向のとおり所属することを事務局より報告した。なお、甘粕(勇)委員については、郷土文化推進部会を第1希望としていたが、ボランティアセンター運営委員会の所属とすることとなった。

(2) 今年度の全体会開催時間について

別紙の会議日程表(案)について事務局より確認。記載のとおりでの開催ということで決定した。

(3) 各部会での協議

各部会ごとに分かれ、今後の活動についての確認を行い、以下のように各部会長から報告がされた。

- ・郷土文化推進部会…9月1日の午後3時30分から、市民センターにて会議を開

催する。

- ・青少年健全育成部会…9月ごろに会議を開催する。
 - ・ボランティアセンター運営委員会…8月25日に会議を開催し、9月以降のボランティアセンター開所についてや、今後の活動方針について協議する。
 - ・JJBC運営委員会…所属する委員が、ボランティアセンター運営委員会と一部重複しているため、ボランティアセンター運営委員会の協議に同席。
- 8月25日の会議に出席をし、その後、JJBCとしての会議の日程を検討していくこととなった。

(4)その他

特記事項なし。

4. その他

(1)当面の日程

第3回役員会	9月3日(木)15:30～17:00	市民センター	第2談話室
第3回全体会	9月17日(木)15:30～17:00	市民センター	ホール

- ・澁谷(晴)副会長から、地区社会福祉協議会の地域回覧の内容について、情報共有が行われた。
- ・阪井委員から、スポーツの会の今年度の活動について、10月～1月の活動が中止となったことが報告された。
- ・村越委員から、11月のクリーンキャンペーンが中止になったことが報告された。
- ・桐生委員から、片瀬山環境委員会のホームページ作成について情報提供がされた。

5. 閉会

以上

令和2年度第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020年9月17日(木)

午後3時30分から5時00分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 20人(現在数20人)
欠席 0人
- ・事務局 7人
- ・藤沢市 4人(産業労働課2人, 道路河川総務課2人)
- ・神奈川県産業労働局 産業部 産業振興課 3人

《当日資料一覧》

1. 令和2年度 第3回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. さがみロボット産業特区 パンフレット
3. 令和2年度 江の島における自動運転バス実証実験 実施案
4. 片瀬江ノ島駅周辺における駐輪施設の設備について
5. 令和2年度 第2回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録
6. 令和2年度 第2回 ボランティアセンター運営委員会 議事録
7. 回覧チラシ(9/4)

1. 開会

2. 会長あいさつ

畠山会長よりご挨拶をいただいた。

3. 神奈川県および藤沢市からの情報提供

①江の島自動運転バス実証実験 実施案について

(神奈川県産業振興課・藤沢市産業労働課)

別紙のパンフレットに沿って、さがみロボット産業特区について説明後、実施案に沿って県産業振興課の本間氏から説明がされた。

質疑応答は次のとおり(Q:委員, A:産業振興課)

Q:前回よりも車(バス)が小さくなった理由と今後何に向けていくのか

A:小田急との提携の中で、全自動運転を見据えた際にNAVYA(ナビヤ)社が選定された

Q:乗客の乗車制限等はあるのか

A:年齢や性別の制限はないが、車椅子での乗車は不可

Q:シートベルトの有無も含めて、安全対策はとれているのか

A:シートベルトは付いている。また、自動運転ではあるが、乗務員1名がいる

Q: 商店街やイベントとの連携はどうなっているのか

A: 商店街の方については、新型コロナウイルス感染対策用のアプリの登録を行う。
また、イベントとの連携は江の島のイルミネーションとのコラボを検討している

②片瀬江ノ島駅周辺における駐輪施設の整備について

(藤沢市道路河川総務課)

別紙の資料に基づいて片瀬江ノ島駅周辺の駐輪施設について鈴木補佐から説明がされた。

質疑応答は次のとおり(Q:委員, A:道路河川総務課)

Q: 新しくできる駐輪施設は有料か

A: 有料。1回あたり100円とする。日にちをまたぐ場合は200円となる

Q: 終電で帰宅される人は、日にちをまたぎ200円となっており、そういった方からの苦言も出ているが、どう捉えているのか

A: 現状は特に変更は検討していない

Q: そもそも有料の理由とはなにか

A: 利便性の向上と防犯が理由となっており、市で管理している駐輪施設は整備に合わせすべて現在有料としている

Q: 減価償却で途中から無料にするという考えはないのか

A: 基本方針として検討していない

市内にある駐輪施設には民間の駐輪施設もあり、そういったところとの兼ね合いから市の駐輪施設のみ無料にするということとはできない

Q: 片瀬江ノ島駅第1自転車駐車場の運用率はどのくらいか

A: だいたい4割弱ではあるが、コロナウイルスの影響もあるので、正確な数字として計れない

Q: 整備費はどのくらいか

A: 駐輪場とロータリーの整備費で4,390万円。ゲートなどの電子機器が6年間で2,906万6000円

Q: 放置自転車対策が目的としてあった中で、有料駐輪施設ができたことで、放置自転車は減ったのか

A: 放置自転車の数は減っている。ただし、コロナウイルスの影響で自転車の利用数自体が減っていることもある

Q: ヨットハーバーや島内の放置自転車はどうなのか

A: 島内については把握できていない。今回の目的は駅周辺となっているため、島内については観光部門とも確認をしていきたい

・その他, 意見として

→湘南モノレールの駅の無料駐輪場では、放置自転車が増えていたこともあり、持ち主の責任が伴うという観点からも有料はいいと思う

4. 議題

①各部会から取り組みについて

・ボランティアセンター運営委員会

議事録に沿って、澁谷(晴)部会長、事務局から報告がされた。

・青少年健全育成部会

三觜部会長から10月5日の部会で意見を集める予定であることが報告された。

・郷土文化推進部会

甘粕(寿)部会長から9月1日の部会にて、マップ作りについて協議がされたことが報告された。

・人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷(宏)部会長から9月15日に会議が開催されたことと、今後毎月会議を開催していくことで決定したということが報告された。

5. その他

①日程の一部変更(次回全体会)について

事務局から次回開催予定であった10月15日(木)の全体会は中止とし、11月19日(木)の開催とすることが報告された。

②その他

・村越委員から10月10日(土)に予定している「第40回江の島、片瀬・鵜沼海岸クリーン活動」への協力のお願いがされた。

・吉見委員から、10月以降の子供ランドの開館時間について以下のようにになると報告がされた。

午前10時～正午:乳幼児 午後1時30分～2時:清掃 2時～4時:小学生以上

・事務局から、まちづくり協議会の活動がタウンニュースに取材されることが報告された。畠山会長および、甘粕(寿)副会長が対応されることとなっている。

4. その他

(1)当面の日程

第4回役員会 10月 1日(木)15:30～17:00 市民センター 第2談話室

(その後変更) 7日(木) ※市の会長会議と重なったため

第4回全体会 11月19日(木)15:30～17:00 市民センター ホール

5. 閉 会

以 上

令和2年度第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020年11月19日(木)

午後3時30分から5時00分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 19人(現在数20人)
欠席 1人
- ・事務局 7人
- ・藤沢市 3人(企画政策課3人)

《当日資料一覧》

1. 令和2年度 第4回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 市政運営の総合指針2020の改定について
3. 令和2年度 第3回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録
4. 回覧チラシ(10/20, 11/5, 11/20)
5. タウンニュース藤沢版 10月9日号

1. 開 会

2. 会長あいさつ

畠山会長が所用により不在のため、後ほど到着された際にご挨拶をいただくことが事務局から報告された。

3. 藤沢市から

「市政運用の総合指針2020の改正について」

(藤沢市企画政策部 佐保田部長 企画政策課 青木主幹 水野主幹)

別紙資料に基づいて、総合指針について企画政策課の水野主幹から説明が行われた。

質疑応答は次のとおり(Q:委員, A:企画政策課)

Q:パブリックコメントについて、FAXでもいいのか

A:FAXでも受け付けている。

Q:今回の説明は第1章の基本方針素案についてのみとなっているが、第2章の重点方針も含めたものについては、今後ホームページなどで確認することになるのか。

A:第2章については、12月半ばごろから改めてパブリックコメントを募っていく。

Q:地区への今回のような説明は今回のみとなるのか。

A:必要に応じて、改めて説明をすることもあるが、すべての団体へ説明するとなると、時間を要してしまうため、地区別に意見を伺いながら説明については検討していくことになると思われる。

Q:SDGsについて、2015年に国連で採択をされてから、藤沢市としては活動が遅かったと感じるが、このタイミングでの実施の理由はどうか。

A:まず、2015年に国連サミット(総会)で採択された場合は、それに対する理解が正直薄かったことから、取り組みができていなかった。その後、神奈川県全体としてこの視点を取り入れとなったところで、藤沢も積極的に取り組むようになった。具体的には、キャンペーンなどを行うのではなく、既に各分野、部門で計画を立てる際にSDGsの視点を取り入れた状態で計画を立てている。それが今回4年に一度のタイミングということで指針として改めて示したものとなっている。このタイミングで初めて取り組んだということではない。

Q:藤沢市として、やるべき事業が増えている中で、財政の見通しが厳しいことについて、今後どのように考えているのか。

A:財政の見通しとして、生産年齢人口の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響等による市税収入の減少のため、収入面で減少があることは事実。その中でやるべき事業に優先順位をつけることや、事業の見直し(無くすのではなく)等を行うことが必要である。また、今後の収入の増加のために、生産年齢人口の増加や、市内に固定資産税の購入を促すために、藤沢市の魅力を発信し続けることも引き続き重要であると考えている。

4. 議題

①各部会から取り組みについて

- ・人材・情報バンクセンター運営委員会
議事録に沿って、事務局から報告がされた。
- ・ボランティアセンター運営委員会
議事録に沿って、澁谷(晴)部会長、事務局から報告がされた。
- ・青少年健全育成部会
議事録に沿って、三觜部会長、事務局から報告がされた。
- ・郷土文化推進部会
議事録に沿って、事務局から報告がされた。

②公民館まつり代替企画「Let's Try 片瀬！みんなにエールを」について

資料に沿って、今年度の公民館まつりが中止になっていることと、その代替企画として3月に標記イベントが実施されることが事務局から報告された。各部会にて参加について協議していただくようお願いがされた。

③今年度の地区集会について

例年2月ごろに開催をしている地区集会だが、今年度については新型コロナウイルスの感染状況もあるため、開催するかどうかについての意見を事務局から委員に確認した。準備期間や現在の感染状況という部分が懸念されており、最終的に回答がまとまらなかったため、次回役員会で再度検討をしていくということとなった。

④報告

- ・藤沢市郷土づくり推進会議地区交流会(11/17)
畠山会長から、会議参加報告がされた。今年度は新型コロナウイルス感染対策とし

て、Zoom 形式での開催となり、各地区の会長から現在の地区活動について報告がされた。片瀬地区のトピックスとして、「湘南の宝石(江の島島内イルミネーション事業)」が、第7回イルミネーションアワードにおいて、ハウステンボスに次ぐ2位になったことを会長から報告した。

・タウンニュース

10月9日号のタウンニュースから、市内13地区の郷土づくり推進会議の活動を紹介するコーナーが始まり、第1回として片瀬地区が取り上げられ、畠山会長、甘粕(寿)副会長の掲載内容について事務局から報告がされた。なお、その後他地区のコーナーはまだ発信されていないことも、事務局から報告があった。

5. その他

- ・金子委員から藤沢市のプレミアム商品券に関して、無事50万冊完売されたことが商店会を代表して報告された。
- ・澁谷(晴)副会長から、地域回覧11月10日号内の「介護のつどい」と11月25日号内の「生活支援部会のチラシ」のそれぞれについて、社協を代表して紹介がされた。
- ・甘粕(勇)委員から、これまで安全・安心ステーションの鍵の開け閉めにご協力をいただいていたかねはち米店の金子委員が、この度その任を終えることになったことを防犯協会を代表して報告された。
- ・甘粕(寿)副会長から、12月5日(土)に地区総合防災訓練が実施されることが自主防を代表して報告された。
- ・秋岡委員から、2021年5月に西浜海岸で流鏝馬の披露を行うための団体が発足されたことが、江の島振興連絡協議会を代表して報告された。
- ・事務局から、2021年の地区新年賀詞交歓会について、今年度は新型コロナウイルスの感染状況により中止になったことが報告された。
- ・事務局から、国登録有形文化財に指定された「玉屋本店(依藤委員が店主)」に10月に文部科学大臣から登録証と記念プレートが交付されたことが報告された。

・今後の日程について

第6回役員会	12月 3日(木)15:30~17:00	市民センター 第2談話室
第5回全体会	12月17日(木)15:30~17:00	市民センター ホール

5. 閉 会

以 上

令和2年度第5回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2020年12月17日(木)

午後3時30分から4時30分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 15人(現在数20人)
欠席 5人(甘粕(寿)、秋岡、金子、阪井、依藤:敬称略)
- ・事務局 7人

《当日資料一覧》

1. 令和2年度 第5回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 令和2年度 第4回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録
3. 回覧チラシ(12/4, 12/18)
4. チラシ(湘南の宝石について)

1. 開 会

2. 会長あいさつ

畠山会長からあいさつがされた。

3. 議題

①各部会から取り組みについて

- ・人材・情報バンクセンター運営委員会
議事録に沿って、事務局から報告がされた。
- ・ボランティアセンター運営委員会
議事録に沿って、澁谷(晴)部会長、事務局から報告がされた。
- ・青少年健全育成部会
議事録に沿って、三觜部会長、事務局から報告がされた。
- ・郷土文化推進部会
議事録に沿って、事務局から報告がされた。

②今年度の地区集会について

- ・他地区の状況
資料7ページに沿って、他地区の開催状況について事務局から説明がされた。
- ・役員会での検討
第6回役員会で検討した結果、今年度は実施を見送ることとなったことが事務局から報告された。

③江の島における自動運転バス実証実験(その後)について

委員の乗車等を含め、詳細を報告する予定であったが、神奈川県からの回答がまだ出ておらず、改めての報告になることと、新型コロナウイルス感染症の影響により、実証実験の実施自体も見送る可能性があることが事務局から報告された。

④報告

・藤沢市郷土づくり推進会議地区交流会(11/17)

資料8ページから15ページに沿って、畠山会長と事務局から、会議記録の報告がされた。

・タウンニュース(明治地区)

11月20日号のタウンニュースにて、明治地区の郷土づくり推進会議の活動が紹介されたことが事務局から報告された。なお、掲載については片瀬地区に次いで2番目である。

5. その他

・事務局から公民館まつり代替企画「Let's Try 片瀬！みんなにエールを！」について、3月6日(土)に開催されることが報告された。

・澁谷(晴)副会長から、地域回覧12月10日号内の「懇談会のお知らせ」と12月25日号内の「ひだまり片瀬の開館日程のお知らせ」のそれぞれについて、ボランティアセンター運営委員会を代表して紹介がされた。

・事務局から地域回覧12月10日号内の公民館事業「片瀬名画座のお知らせ」について生活環境協議会の協力のもと、海洋プラスチックをテーマにした上映会とトークセッションが行われることが紹介された。

・事務局から12月5日(土)に「片瀬地区総合防災訓練」が実施され、230名の方が当日参加をし、訓練についても一部雨天で中止となった内容はあったが、全体としては予定どおり行われたことが報告された。

・今後の日程について

第7回役員会 1月7日(木)15:30～17:00 市民センター 第2談話室

第6回全体会 1月21日(木)15:30～17:00 市民センター ホール

5. 閉会

以上

令和2年度第6回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2021年3月23日(火)
午後3時30分から5時まで
片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 15人（現在数20人）
欠席 5人（金子，阪井，高野，永由，吉見：敬称略）
- ・事務局 7人

《当日資料》

1. 令和2年度 第6回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 令和2年度 第5回 ボランティアセンター運営委員会 会議次第
3. 令和3年度会議日程表（案）
4. まちづくり協議会地区集会実績表（平成25年度～令和元年度）
5. 令和3年度 藤沢浮世絵館 地域連携展示 片瀬公民館事業について
6. 片瀬・江の島まちづくり協議会 まちづくり通信 40号
7. タウンニュース（2/19, 3/12）
8. コロンブス（2021年1月号：片瀬こま）
9. 回覧チラシ（3月25日号用）

1. 開 会

2. 会長あいさつ

畠山会長からあいさつがされた。

3. 議題

(1)各部会からの報告

- ・ボランティアセンター運営委員会
議事録に沿って，澁谷(晴)部会長，事務局から報告がされた。
- ・人材・情報バンクセンター運営委員会
澁谷(宏)部会長，事務局から年間の活動と次年度の活動予定について報告がされた。
- ・青少年健全育成部会

- 三觜部会長から年間の活動と次年度の活動予定について報告がされた。
- ・ 郷土文化推進部会
甘粕(寿)部会長から年間の活動と次年度の活動予定について報告がされた。

(2) 令和3年度の地区集会「テーマ」について

令和3年度の地区集会のテーマについて協議を行った。令和3年度は2回の開催を予定し、今回は第1回目（9～11月予定）案についてのテーマの頭出しをし、次回以降具体的にテーマの選定などを行うこととなった。テーマの候補として挙げたのは次の3点となる。

① 片瀬地区の防災について

各自治町内会で行われている災害対策について、取り組み内容や課題などを意見交換する。

全国有数の観光地である片瀬・江の島地区で、津波対策を含む観光地ならではの災害対策について考える。

② 環境について

今年度開催が中止となってしまった、生活環境協議会と公民館共同事業に関連して、海洋プラスチックについての映画鑑賞と意見交換をする。

③ 落語について

実際に落語家を招いて、コロナや時事課題などを指定し、落語で語られることで、地域取り組みのきっかけの1つにする。

(3) 報告

- ・ タウンニュース（六会・御所見地区）
各地区の郷土づくり推進会議の活動報告について、六会地区と御所見地区がタウンニュースに掲載されたことが事務局から報告された。
- ・ 片瀬こま（コロンブス）
産業栽培メディア雑誌「コロンブス(2021年1月号)」に片瀬こま保存会会長の熊野氏が掲載されたことが事務局から報告された。
- ・ 公民館予約が電子申請に変わることに
公民館活用部会でも提案として挙がっていた電子申請について、2021年6月の予約分(3月20日申請開始)から実施されたことが事務局から報告された。

(4) その他

- ・片瀬江の島浮世絵展について

2021年7月17日(土)から23日(金)まで片瀬公民館で浮世絵を展示することについて、資料を基に事務局から内容の説明と、各自治町内会や団体へのお知らせのお願いがされた。

4. その他

特になし

当面の日程

第1回役員会	4月 8日(木)	15:30~17:00	市民センター第2談話室
第1回全体会	4月22日(木)	15:30~17:00	市民センター ホール

5. 閉 会

以 上